

高知新聞

須崎工高

ぼうさい甲子園 須崎工高に優秀賞



「ぼうさい甲子園」優秀賞に輝いた須崎工高生（須崎市の同校）

【須崎】南海トラフ地震に備えた防災活動に取り組む須崎市の須崎工業高校がこのほど、優れた防災教育を表彰する「ぼうさい甲子園」で、高校生部門の2位に当たる優秀賞に輝いた。避難誘導灯の校内設置や津波に関する紙芝居制作など、ものづくりを生かした活動が評価された。（山本 仁）

折り畳みこんろ、LED誘導灯…

命守るものづくり評価

「甲子園」は、阪さい大賞、優秀賞、奨励賞などを選んだ。須崎市などが緊急避難場所指定している2005年度から毎年開催。今回は小中高生と大学生、計4部門に授業で防災関連のものづくりを推進。折り畳める鉄製こんろ（機械科）や、リヤカーと車いすの連結金具（同）、発光ダイオード（LED）の避難誘導灯（電気情報科と造船科）などを製作してきた。こんろは展開すると、逆Vラミッド形の空間でまきなどを燃やせる。連結金具は衝撃を和らげるショックアブソーバー付き。誘導灯は校内3カ所に設置しており、太陽光発電で夜間に点灯する。またユニバーサルデザイン科は市内8カ所に避難路への案内板を設置したほか、東北支援に出向いた全国警察官の手記を基に紙芝居を手作り。昨年4～6月、地元保育園の子供らに読み聞かせを行った。同科3年の西森亜羅汰君（18）は「やってきて良かった」と笑顔で話していた。

県内では他に、須崎高（須崎市）と南海中（高知市）が「津波ぼうさい賞」に、佐賀小（幡多郡黒潮町）が「教科アイデア賞」にそれぞれ選ばれた。



全国大会でも高い評価！